

入院診療計画書 「 上腕骨骨折 骨接合術 でご入院の

さんへ」

(病名)	(症状)	(説明日)	年	月	日 (ご本人・ご家族)	確認サイン	
経過	入院時	手術前日	手術当日		術後1日目	2~4日目	5日目
月 日	/	/	術前 / 術後		/	/ ~ /	/
到達目標							
治療 処置 リハビリ テーション	骨折した方の腕をマットに乗せて高くします。 三角巾・シーネ等で固定又は重りをつけて引きます。 必要に応じて麻酔科医の診察又は内科その他の科の診療があります。	排便がなければ 流腸をします。	朝10時頃から 点滴を行います。 手術室で尿を 自然に出すため の管を入れます。	手術後の点滴は 食事が取れるよう になるまで続きます。 抗生剤の点滴が あります。 (セフェム第1世代)	手術したところのガーゼを 交換します(創部の観察の ために1週目まで毎日 します)。 抗生剤の点滴が朝夕 あります。 尿を出さず管を抜きます。 手術したほうの手指の 運動を始めます。		退院です
手術	□無 ・ □有 (術式:)						
検査	入院時に次の検査があります。 血液・尿・心電図・肺機能 ・レントゲン				血液検査があります。		血液・尿の検査と レントゲン撮影が あります。
薬剤 服薬指導	日頃から飲んでいる薬や アレルギーを起こす薬が あればお知らせ下さい。	就寝前に下剤を飲む 場合があります。 眠れない時はご相談 下さい。					
全身管理 症 状	今までかかった病気等について お伺いします。 骨折した方の腕の指の動きや しびれの有無、腫れをみます。 血圧・脈拍、体温を測ります (退院まで毎日行います)。			手術部位の痛みの他、 頭痛、吐き気など あればお知らせ 下さい。	痛みがあればお知らせ下さい。		
食事 栄養指導	特別な栄養管理の必要性 □有 ・ □無 必要に応じて栄養状態を良くする ための支援を行います。 普通食又は治療食です。	24時以降食べたり 飲んだりできません。		手術後、病室へ戻って から腸の動きを 確認後、水を飲んで よいかお伝えします ので、それまで 飲めません。	食事が開始になります。 お粥から始まり、 身体の状態で食事が 変わります。		
安静度	なるべくベッド上安静です。 骨折している方の腕はマットに 乗せて高くしておきます。			病室へ戻ってからは 手術した腕をマットで 高くします。	三角巾を付けてトイレに 歩いて行くことができます。		
清潔	シャワー浴をできるようになるまで は身体を拭きます。				身体を拭いて術衣から病衣に 着替えます。		
患者・家族 への説明	主治医が入院中の診療計画や 手術について説明します。 看護師が入院生活について 説明します。 治療・福祉などのご相談が ある場合は、看護師が相談員に お尋ねください。	手術同意書を提出 して下さい。 手術の必要物品を 確認します。 手術室の看護師が 訪問し、手術について 説明します。		手術終了後、主治医 よりご家族の方へ 手術の結果について 説明します。			状態が良ければ 通院可能です。

※ 症状により、予定と異なる場合があります。分からないことがあれば、お気軽に主治医や看護師にお尋ね下さい。

※ なお、この計画書を病院側から受け取られた後は、患者さんの責任の下、保管していただきますようお願い申し上げます。

(病棟 号室) 主治医 印 担当看護師署名 担当者署名